

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	あかりこどもカフェ～郷土食を作って食べよう～お弁当を作ろう
事業主体 (連絡先)	NPO 法人辰野自立生活支援の会あかり 上伊那郡辰野町赤羽 100-2
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	409,771 円 (うち支援金 : 327,000 円)

事業内容

1. 相対的貧困、朝食を食べない子供たちが増加している社会状況の中で子供たちに食事を「作って食べる」場を一緒に作っていききたい。郷土食を作って食べようを実践してきた。
2. 毎月1回 土曜日開催とした。
学習支援も一緒に実施しようと午後は学習支援も行った。勉強道具を持って参加が習慣となってきた。
 - ・こどもカフェ第3土曜日 10時～15時 12回開催
 - ・参加者人数 334人 (計画 330人)
3. 食が軽んじられている社会にあって、「食育」「食の重要性」を理解する機会として「弁当の日」竹下和男氏講演会を開催した
 - ・参加者 96名(計画 150人)
4. 「弁当作りワークショップ」を開催し、自分で弁当を作れる実践活動に取り組む。
 - ・4回開催
 - ・参加者 91人 (計画 100人)



【10月 ソースかつ丼作り】

【目標・ねらい】

- ① 食事を作ることの楽しさを伝える
- ② こどもカフェを知ってもらう
- ③ 地元食材を使う
- ④ 学習の習慣づけ

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 支援金を活用して、こどもカフェを毎月定例で開催できた。
2. 広報のためのチラシを毎回1500枚作成し町内全学校の子供たちに情報を発信できた。
その効果で参加者も予定人数達成できた。
3. 子どもカフェに定期的に参加する子どもが多く食事を作ることの楽しさを伝えることができた。
4. 地域の方に周知することを目指したが、豊南短大の学生の参加が毎回あった事が良かった。
5. カフェの食材は、町内近隣で調達し、地元食材季節感を感じるものとなった。
6. 支援金を活用して弁当の日講演会を開催したことで食の大切さを地域へ向けて発信ができた。地域新聞に掲載された。

※自己評価【B】

【理由】

1. こどもカフェは辰野町で初めての取り組みであった。そして定期的な開催ができた。
2. 学習支援も協力者を募り子供たちと向き合う時間が作れた

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・今年度の事業が町教育委員会から評価をされて、次年度は町委託事業としてあかりこどもカフェを実施していく。
- ・次年度実施日を増やしていくことも検討していく。